

Course number		U-LAS00 10004 LJ34					
Course title (and course title in English)		倫理学II Ethics II		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,SATOU YOSHIYUKI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Philosophy(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・Second semester	
Days and periods		Fri.4		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>「どうして私は道徳を守らねばならないのか。もしかすると道徳など、守らねばならないと信じ込まれているだけで、本当は守らなくてよいのではないか」</p> <p>この種の素朴だが根源的な問いから出発して、道徳というものを根本から問い直してみたい（佐藤担当前期「倫理学Ⅰ」と内容上一連の授業）。</p>							
[Course objectives]							
常識的な倫理観を否定する倫理学上のいくつかの立場の批判的検討を通じ、倫理の正当性を問い、倫理についての理解を深める。							
[Course schedule and contents)]							
<p>(１) 授業の方法、成績算定法等に関するガイダンス（第１回）</p> <p>(２) 問題提起と前期まとめ：「どうして道徳を守らなければならないのか」（第１回）</p> <p>(３) ホップズ 彼への疑問点の検討...利己的人間にとって「道徳」は可能か（第２～３回）</p> <p>(４) ベンサム：快樂の総和を増大させる行為が正 功利主義　義務論的倫理学との対比において（第４～６回） 利己的人間観の検討（第７回）</p> <p>(５) 相対主義的倫理観：川の向こうとこちらで正義は異なる（第８回）</p> <p>(６) ヘアの選好功利主義：相対主義への対応策？ 選好功利主義（第９～１０回） 倫理の相対性と選好功利主義（第１１回） 批判的検討...「選好」の検討。どうして道徳を守らなければならないか（第１１回）</p> <p>(７) 討議倫理：道徳という逃れがたきもの 討議倫理（第１２～１３回） どうして道徳を守らなければならないか。...ひとつの結論（第１４回）</p> <p>フィードバック：詳細は別途連絡する（第１５回）。</p>							
[Course requirements]							
前期「倫理学Ⅰ」（佐藤担当）と一連の講義であるが、「倫理学Ⅰ」履修済みの者でなくとも理解できるように授業は進める。							

Continue to 倫理学II(2)							

倫理学II(2)

[Evaluation methods and policy]

授業時に随時数回、事前の予告なく実施する小テストによる。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

ノート参照可の小テストを授業時に随時実施するので、それに備えて授業ノートを整理し、復習しておくことが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

受講希望者多数の場合、受講者を制限することがある。その際は、今年度前期「倫理学Ⅰ」（佐藤担当に限る）の単位修得者のうち抽選に参加する者について優先的に登録を認め、後期からの受講希望者に関しては、残りの人数枠で抽選とする予定である。抽選に関しては別途指示があるので注意すること。